

放射線に関する Q & A

放射線は目に見えません。しかし正しく認識し、対処することで過剰な心配や、無用な被ばくを避けることができます。放射能対策室では定期的に、この Q & A を連載していきます。

監修＝相馬市健康対策
専門部会委員、東京大
学医科学研究所
坪倉正治
作成＝放射能対策室



Q 除染されていない場所で遊んで大丈夫ですか？

A 現在、相馬市内の全ての地区で除染が終了しているわけではありません。除染されておらず放射性物質が残る場所より、除染後の放射性物質が少なくなった場所で遊んだほうが、被ばく量が少なくなるのは確かだと思います。しかしながら、除染されていない場所で短時間遊ぶことにより、被ばく量が大きく増えるわけではありません。

外部被ばくにおいて、一番気をつけることは、滞在時間の長い場所（就寝場所など）の線量を低く維持することです。雨どいの下や水たまりは局所的に空間線量が高い場合があります。そのような場所に長時間滞在することについて注意は必要ですが、それを避ける余り子どもの成長に必要な外での活動が減ってしまうのは妥当ではないと考えます。

相馬市の空間線量は、場所にもよりますが概して西日本を含む日本国内の他地域と同程度まで下がってきており、ガラスバッチによる測定結果でも同様のことが示されています。

たとえ、除染していない土に触ったとしても、よく手洗いすることで放射性物質は洗い流されます。運動中に転んでけがをしたとしても、傷口からすぐに放射性物質が体内に入り込むということもありま

せん。手洗いと同じように、傷口を水で洗い流して消毒などをすれば大丈夫です。万が一、土が口に入っても、放射性物質による被ばくは非常に小さく、人体への影響は考えられません。

子どもにとって、適度な運動は非常に大切です。運動不足による体力の低下は、子どもの成長と発達を妨げる要因になり、遊べないことでストレスも溜まります。バランスの取れた生活を心掛けることが大切だと考えられます。

モニタリングポストなどの空間放射線量測定値

（平成 26 年 6 月 1 日時点）

測定場所	μ Sv/h	測定場所	μ Sv/h
大野幼稚園	0.11	大野小学校	0.10
飯豊幼稚園	0.11	飯豊小学校	0.09
八幡幼稚園	0.13	八幡小学校	0.10
日立木幼稚園	0.11	日立木小学校	0.10
磯部幼稚園	0.09	磯部小学校	0.09
山上幼稚園	0.14	山上小学校	0.14
スポーツアリーナそうま	0.19	玉野小学校	0.27
光陽サッカー場	0.16	道の駅そうま体験実習館	0.20

※モニタリングポストの数値を、 1μ Gy/h = 1μ Sv/h と換算しています。

出典および参考資料：長崎大学「放射線・放射性物質 Q&A ②」

原子力規制委員会ホームページ「リアルタイム空間線量率測定結果」

相馬市ホームページ

●問い合わせ先 放射能対策室 ☎ 37-2270

自家消費野菜などの放射性物質測定結果

● 5 月分

▽測定件数 181 件（野菜 42 件、果実 3 件、水（井戸水、湧水）3 件、魚 16 件、山菜・きのこ 88 件、その他 29 件）
▽基準値を超えた食品 5 件（内訳：山菜・きのこ 4 件、その他 1 件）

●相馬市で出荷制限などを受けている食品（5 月 30 日現在）
▽キウイフルーツ▽クリ▽くさそてつ（こごみ）▽たけのこ▽ふきのとう（野生）▽ぜんまい▽たらの芽（野生）▽原木しいたけ（露地）▽原木なめこ（露地）▽野生きのこ▽こしあぶら▽うど（野生）▽牛（県の定める出荷・検査方針に基づくものを除く）

これまでの食品の検査結果は相馬市ホームページ内の放射線に関するページで公表しています。

<http://www.city.soma.fukushima.jp/housyasen/index.html>

●問い合わせ先 放射能対策室（☎ 37 2 2 7 0）